

祖父からの伝言

中城村立中城中学校 三年

比嘉 希波

青い空に浮かんだ貴方の笑顔

真っ先に思い出すのは

島歌を歌う姿です

兄が三線を取り出すと

いつもうれしそうに笑った

お酒の入ったお茶碗をかたわらに

子や孫 ひ孫に囲まれて

調子のはずれた手拍子をして

幸せそうに 楽しそうに笑う

優しいその笑顔の裏に

どんな悲しみがあつたのですか

記憶の中の貴方は

いつも笑顔で話し出します

・・・ずっと昔 戦世のときの話さあ

おじいにも赤紙が来たわけ

本当は行きたくなかったけど

行かないといけないさあねえ

でもさあ

いくら戦争でも

人は殺したくないさあ

おじいは

隣の人の動きに合わせて

鉄砲を撃っているじらあしていたわけ

上の人に知られていたら

大変だったはずよお・・・

誰が想像できるでしょう

果てしなく広いこの空に

いくつもの飛行機が飛んできて

死の雨を降らせていったことなど

誰が想像できるでしょう

青く澄みわたったこの海に

いくつもの軍艦が浮かび

数ある人の墓場となったことなど

誰が想像できるでしょう

緑豊かなこの小さな島に

いくつもの戦車が走り

自然も街も壊されてしまったことなど

誰が想像できるでしょう

平和を愛する島人が

武器を持たされ 逃げまどい

悲しみの涙を流し

罪もないのに死んでいったことなど

この小さな島が抱える悲しみは

あまりに深く

あまりに大きい

そしてまだ

この地球のどこかで

明日への希望も持てない人が

何万といる

世界中の人たちが

希望を持てる明日は

いつになったら来るのでしょうか

明日への光りも見つけられない

真っ暗な夜は

いつになったら明けるのでしょうか

小さな花を咲かせませんか

涙が枯れてしまわぬうちに

四つ葉のクローバーを見つけませんか

笑顔が消えてしまわぬうちに

どんなに小さなことでも

どんなに身近なことでも

私たちの思いが

きっと平和の礎を築く

私たちの手で

平和な明日を・・・

真夏の照るつける太陽

フェンスの中から飛び立った飛行機が

今日も沖繩の空を飛んで行く

まずはここから始めよう

私の生まれた大好きなこの島

心の底から

「平和な島になったよ」

とあなたに伝えたい

見ててね おじいちゃん

教えてくれた「命どう宝」の心

きつときつと つないでいくよ